

速報！



平成27年度

編入学合格者
Q&A集

桜の聖母短期大学

H26年12月26日 作成

編入学合格者Q&A

(国) 宇都宮大学

国際学部 国際社会学科

キャリア教養学科 (白河旭高校出身)

Q. 編入を考えたのはいつからですか。またその理由を教えてください。

A. 入学当時から目標にしていました。きっかけは大学受験の失敗です。高校時代の担任の先生から、桜の聖母短期大学は編入のサポートが充実していると教えていただき、もう一度、第一志望の大学を目指したいと考えました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

A. 1年生の頃から普通の講義の中で、先生方が編入試験のアドバイスや勉強方法について何度も話をしてくれました。2年生からゼミごとに本格的に指導が始まりました。私が所属していたゼミでは、小論文対策や新聞記事を活用した勉強を行っていました。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 聖母短大は、生徒と先生との距離がとても近く、安心して学問が深めることができる環境が整っています。私が専攻しているキャリア教養学科では自分を社会構成の一員として位置づけ、その中で主体的に行動するためのスキルを身につけることができます。これらの特色ある学びと誠実に向き合っていくことが編入試験対策につながります。また、シンポジウムや講演会、ボランティア活動などに積極的に参加することで、さらに物事を複眼的に考察する能力を高めることができます。一つ一つの学びを大切にしていくとともに、普段から自分と向き合って学生生活を楽しんでください。

編入学合格者Q&A

(国) 福島大学

人文社会学群 行政政策学類

キャリア教養学科 (福島南高校出身)

Q. 編入対策で努力したことを具体的に教えてください。

A. 小論文対策です。まずは文章構成から顧問の先生に指導していただき(6~7月頃)、慣れてきたら論理構成や小論文の裏付けとなる社会のことを知る作業をしました(夏休み~)。また、英語は参考書を自分で購入し、毎晩1単元を目標に問題を解いていました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. 福島学や法律に関する授業、英語の授業です。福島大学では福島をフィールドとして学びが展開されるため、福島のことを考える学びができる福島学の学びは自分が大学で学びたいことの根拠にもなりました。また、法律の授業は現代社会を考えるためのヒントとなり、社会情勢について考えるよい機会となったと思います。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 私は今回の編入での学びとして、「やったらやった分だけの結果が返ってくる」ということを知ったと感じています。編入を考える上で大切なのが、「自分の性格を把握すること」「自分に無理のない勉強の計画を立てること」であると考えています。編入を考えるときは、自分のために、楽しんで勉強できる環境を整えてあげてください。

編入学合格者Q&A

(国) 福島大学

人文社会学群 行政政策学類

キャリア教養学科 (福島成蹊高校出身)

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

A. 学習指導は顧問の先生にいただきました。志望理由書や小論文の添削などさまざまな面でサポートやアドバイスをいただきました。また、顧問ではない先生方にも面接指導をしていただきました。

Q. 編入対策で努力したことを具体的に教えてください。

A. 編入試験に必要な英語や小論文が得意ではなかったため、その二つを集中的に取り組みました。英語は編入ガイダンスで紹介された問題集を購入し、繰り返し解きました。小論文は図書館に行き、気になる新聞記事をコピーしノートにまとめていました。社説やオピニオンはノートに書き写し、文章の書き方の参考にしていました。どちらも2年生になってから取り組み始めました。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

A. 「孤独に耐えなさい」という顧問の先生の言葉です。夏休み中、毎日図書館に通い、勉強するのはまさに孤独そのものでした。先生の言葉がなければくじけていたと思います。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 編入に限らず、早めの行動が大切だと思います。短大生活は2年しかありません。悔いのない2年間にできるよう頑張ってください。

編入学合格者Q&A

(国) 福島大学

人文社会学群 行政政策学類

キャリア教養学科 (橘高校出身)

Q. 編入を考えたのはいつからですか。またその理由を教えてください。

A. 高校3年生の時に参加した入試説明会で、編入学試験に合格した先輩の体験談を聞いた時からです。聖母短大で学んだ上で4年生大学に編入すれば、自分にとって深い学びができると思い、編入を考えるようになりました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

A. 英語は、2年生の前期から編入英語対策講座で、単語や基本的な構文、長文読解の指導をしていただきました。小論文は、顧問の先生にいただいた課題に取り組みました。試験1か月前には実際の形式に従って模擬試験を行いました。面接対策としては、エントリーシートの添削指導、試験1週間前に実際の形式に沿った面接練習をしていただきました。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. あらゆる場面で文章力やコミュニケーション能力、プレゼンテーション能力を試されることがあり、それが編入試験対策に役立ちました。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

A. 特に英語学習には、寝る前にその日の復習をすると定着しやすいことと、小論文対策には新聞を読んでとにかく書いてみるのが効果的だとアドバイスをいただき、自分の意見を書くときに非常に役立ちました。

編入学合格者Q&A

(国) 福島大学

人文社会学群 行政政策学類

キャリア教養学科 (桜の聖母学院高校出身)

Q. 編入対策で努力したことを具体的に教えてください。

A. 編入試験は、英語と小論文、面接でした。英語に関しては1年生の頃から編入対策の授業を履修するようにし、英語長文をひたすら解き、印刷した問題用紙に文法や単語の意味を書き込んで、その書き込んだプリントを暗記用紙として活用していました。小論文対策に関しては、新聞を毎日読み(社説を中心に)ノートに要約し、分からない語彙を調べて書き込むようにしていました。

Q. 短大入学時(学生生活)の気持ちを教えてください。

A. キャリア教養学科の授業内容が興味のあるものが多かったため、授業が楽しみでした。高校では自分のスケジュール管理など学びに対する時間の使い方が上手くいかなかった部分があったため、短大では授業を一つ一つ丁寧に集中して受けること、勉強や教養を深めていく時間とそれ以外のためにある時間の折り合いをつけるように心がけていました。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは?

A. 少人数制ということもあり、編入学のサポートをしっかりと行ってもらうことができます。キャリア教養学科では、時事や法律といった教養科目、幅広い専門科目があることで、編入の勉強に直結している授業があります。また、キャリアといった自分の進路を決めるための時間を授業として設けているため、まだ進みたい道が分からない人でも、進みたい進路を決定することができます。

編入学合格者Q&A

(国) 福島大学

人文社会学群 人間発達文化学類

生活科学科福祉こども専攻こども保育コース
(橘高校出身)

Q. 編入を考えたのはいつからですか。またその理由を教えてください。

A. 入学当初からです。もともと保育者を目指していましたが、小学校教諭免許も取得したいと思い、編入学を志願しました。また、もっと学び、教養をつけ自分を高めたいとも思いました。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

A. 試験は、英語・小論文・面接です。英語は、編入学希望者対象の授業が週に2回開講されています。小人数なので、丁寧で分かりやすかったです。試験では英訳・和訳が殆なので単語の意味を多く知っておくことが必要です。小論文は、専門分野の先生に個人的に添削をお願いし、夏休み中毎日書き続けていました。面接は、試験の2ヶ月前位から対策を始めました。キャリア支援センターで面接対策用に日程や先生などの予定を組んでいただきました。

Q. 編入対策で努力したことを具体的に教えてください。

A. こども保育コースは5回の実習と授業数も多いので、編入学試験対策の勉強時間を取ることができず、時間の使い方がとても大切でした。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. 新しい知識、気づきがたくさんあり、私自信考え方が柔軟になり、もっと社会で役にたてる人材になりたいと強く思えるようになりました。

編入学合格者Q&A

(私) 和洋女子大学

家政学群 健康栄養学類

生活科学科食物栄養専攻 (築館高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

A. 高校の時、入学する前から考えていました。高校の時、管理栄養士養成校を落ちたが、将来管理栄養士になりたい気持ちは変わらなかったため、編入の実績のある聖母に入りました。また、もっといろいろな学びや視野を広げられたからです。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

A. 2年生の夏休みから、ゼミの先生に専門科目と小論文指導を受けました。一対一で問題を解いたり、家で小論文を書いて先生に提出する形でした。

Q. 聖母の学びで力になったことはどんなことですか。

A. 実習が多かったため、経験から学び考え、話したり書いたりすることができました。また、栄養関係の科目だけでなく、留学や福島学など様々な科目があり、視野や考えが広がったと思います。

Q. 先生のアドバイスで役に立ったことはどんなことですか。

A. それぞれの専門の先生がいたので、現場の話を聞くことができたり、科学的根拠をもとに説明されるので、大変役に立ちました。また、毎回励まされたことで自信ができました。



編入学合格者Q&A

(私) 和洋女子大学

家政学群 健康栄養学類

生活科学科食物栄養専攻 (福島成蹊高校出身)

Q. 編入を考えたのは、いつからでしたか？また、その理由を教えてください。

A. 1年生の夏頃からです。より高度な知識を身につけた管理栄養士になりたいと思うようになったからです。また学外実習で、病院で医師と同等に話す管理栄養士の幅広い知識と高度な技術に圧倒され、自分もそのような管理栄養士を目指したいと思ったからです。

Q. 実際の学習指導は、いつから、誰にどのような形で指導されましたか。

A. 2年生の5月頃、先生から論文をいただき読み込み。8月~10月にかけて2人の先生に小論文添削をしていただきました。実際に模擬問題を作っていたとき、何度も取り組みました。

Q. 編入対策で努力したことを具体的に教えてください。

A. 小論文です。文章で表現することを得意としていなかったため、うまく自分を出せずとても苦戦しました。先生に作っていただいた模擬問題に何回も取り組み、文章の構成や正しい言葉遣いをつかえるように努力しました。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. 短大の学びの一つ一つが編入に繋がっています。根気よく頑張ることで必ず結果は自分に返ってきます。聖母の学びを生かし更に上を目指してほしいです。

編入学合格者Q&A

(私) 宮城学院女子大学

学芸学部 国際文化学科

キャリア教養学科 (福島商業高校出身)

Q. 編入までのプロセスを具体的に教えてください。

A. 元々、編入を希望していましたが、家庭の経済面により4月から就活をしていました。しかし、父からの促しもあり夏休み中にマインド・マップのセントラルイメージに自分が興味のあることを書き、夏休み終り頃に編入を考え直しました。今振り返ると小論文が書けないことを理由に就活に逃げていたのかもしれない。ガイダンスは、1年生の秋頃に合格した先輩から小論文・面接対策の仕方を主にお聞きしました。

Q. 編入対策で努力したことは何ですか。どのような勉強をいつからしましたか。

A. 主に新聞を読むことと面接で何が聞かれるかを考えておくことです。新聞は毎日と朝日を読み、自分の学科に関係のある項目をノートに要約し、社説も書き写したりしました。

Q. これから聖母短大に入学する、または編入を目指す後輩に伝えたいことは？

A. もし、編入か就職かを迷っているならば、入学後すぐにマインド・マップを習うので自分がやりたいこと興味のあることが明確に見えてくると思います。また、悩んだときは一人で抱え込まず誰でもいいので相談することをお勧めします。

